

2学期に担任（教職経験年数2年目・特別支援学校教諭免許有）に対し、半構造化面接（インタビュー調査）を実施したところ、対象生徒の現在の実態や指導方針を「課題関連図」における「中心課題」や「指導仮説」から説明していた。また、日々の授業においては、「Ⅱ水準の『認知』（外界への意識／因果関係理解）」を意識して指導している」との回答を得た。

このように「感覚と運動の高次化理論」から発達水準や指導の方向性を導き出し、自立活動の6区分から「課題関連図」を作成し、「指導仮説」の設定を試みることで、経験年数の浅い担任教師であっても、対象生徒の指導すべき課題や、中学部の3年間を通して対象生徒が「めざす姿」を語ることができるようになった。

(2)「学校として教えるべき教育内容を明確化する視点」からの取組

本研究では、対象生徒へのアセスメントと並行して、筑波大学附属桐が丘特別支援学校が作成した「発達系統表」を用いて授業のねらいに根拠をもたせる取組を行った。

本校では、平成21年～24年度にキャリア教育の推進に向けて、学校として培うべき「生きる力」を五要素に整理した（以下、「生きる力の五要素」とする）。

今年度、校内研究を通して、年間指導計画を見直すにあたり、図8に示すように「生きる力の五要素」を年間指導計画に反映させるようにした。

対象生徒が所属する中学部では、作業学習において、授業の主担当者が協議し、各グループのねらいを一覧したもの（図9参照）を作成した。

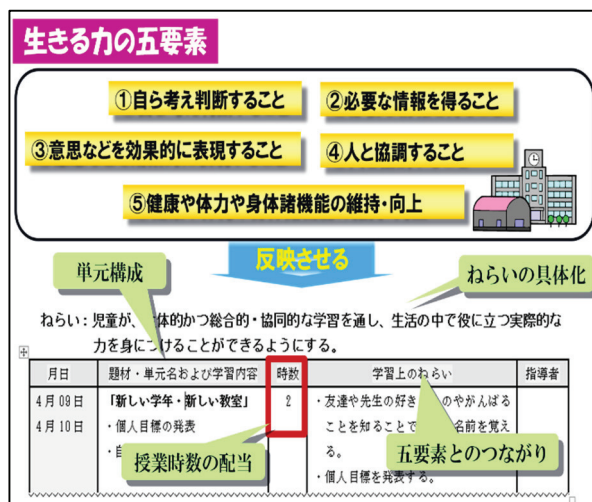


図8 「年間指導計画」の見直し

平成29年度 中学部 「作業学習」 ねらい一覧					
グループに属する生徒の特徴	生きる力の五要素				
	① 自ら考え判断すること	② 必要な情報を得ること	③ 意思などを効果的に表現すること	④ 人と協調すること	⑤ 健康や体力や身体諸機能の維持・向上
A	・周囲の人と言葉でコミュニケーションを取りながら作業をする。	・目標を設定し、それに対する評価をすることができる。	・自分から挨拶や返事をしたり、「できました」と等報告をすることができる。	・次の作業へのつながりなど、「お願ひします」など、友達同士の小グループで活動する。	・安全に気を配り、決められた時間、作業に取り組むことができる。
	・言葉や写真カードで指示されたことを理解して行動できる。	・長期的な見通しを持ち、現在の活動内容を理解して作業することができる。	・わからないことを他者に尋ねることができる。	・友達の話を聞き、自分の意見を伝えることができる。	・決められた時間（個々の目標に応じて）集中して作業をする。
B	・指示を待ってから行動してしまふ。	・出来具合を判断しながら作業することができる。	・必要な器具や道具を言葉や手順書、実物で知ることができる。	・友達の話を聞き、自分の意見を伝えることができる。	・決められた時間（個々の目標に応じて）集中して作業をする。
	・よく知った大人は自分から話しかけるが、友達や周りの知らない大人とコミュニケーションを取るのが難しい。	・周囲の状況を見て、自分から仕事をみつめることができる。	・必要に応じて写真や言葉、実物で知る。	・友達の話を聞き、自分の意見を伝えることができる。	・決められた時間（個々の目標に応じて）集中して作業をする。
C	・写真、実物、身近な言葉や指示を理解して、取り組もうとする。	・目標に応じて、工程を理解して、最後まで活動し、自分の力で行うことを増やす。	・必要に応じて写真や言葉、実物で知る。	・友達の話を聞き、自分の意見を伝えることができる。	・決められた時間（個々の目標に応じて）集中して作業をする。
	・周囲の環境（人、教室環境、教師）によって、取り組みに差が出る生徒もいる。	・準備、片付けを物の場所を理解して、教師と一緒に（見守りの元）行う。	・必要に応じて写真や言葉、実物で知る。	・友達の話を聞き、自分の意見を伝えることができる。	・決められた時間（個々の目標に応じて）集中して作業をする。
D	・理解はあるが手をうまく動かさないう生徒もいる。	・できた物を次の工程まで運ぶ。	・必要に応じて写真や言葉、実物で知る。	・友達の話を聞き、自分の意見を伝えることができる。	・決められた時間（個々の目標に応じて）集中して作業をする。
	・大人と一緒に活動する。	・代替機器を使用し、自分の動きを最大限に生かし、作業を進める。	・必要に応じて写真や言葉、実物で知る。	・友達の話を聞き、自分の意見を伝えることができる。	・決められた時間（個々の目標に応じて）集中して作業をする。
E	・動きに制限があったり、自分の意思で動くことが難しかったりする生徒もいる。	・できたものを見て、できたことや「終わり」がわかる。	・必要に応じて写真や言葉、実物で知る。	・友達の話を聞き、自分の意見を伝えることができる。	・決められた時間（個々の目標に応じて）集中して作業をする。
	・体調管理の面で、看護を必要とする生徒が多い。	・必要に応じて写真や言葉、実物で知る。	・必要に応じて写真や言葉、実物で知る。	・友達の話を聞き、自分の意見を伝えることができる。	・決められた時間（個々の目標に応じて）集中して作業をする。

図9 中学部「作業学習」ねらい一覧